

2011年2月5日(土)、「日本文化委員会」と「教材委員会」の共催で、会員と外国人住民との交流を願い「折り紙作り・歌の集いと教材展示の会」を開催しました。お天気にも恵まれ参加者は70名を越えました。各委員長が、当日の様子を紹介します。

### 「日本文化委員会」 山本昭子

「折り紙作り」では、外国の子供達とお母さんも多数参加し「うさぎ」、「独楽」、「紙風船」、「鶴」などを作りました。子供達は熱心に指を動かし、できあがった作品を前にした喜びの笑顔！また、折り紙作りの指導にあたった有志による手の込んだみごとな作品の数々も並べられました。



「歌の集い」では、日本の歌と外国の歌を交流しました。

日本の歌コーナーでは、後藤智美さんの指導のもと「富士山」、「故郷」、「手のひらを太陽に」などの曲を参加者全員で歌いました。



外国の歌コーナーでは、初めにブラジルの子供達が歌とダンスを披露しました。そのリズムカルでかわいいこと！ 中国人男性の王さんは張りのある声で「北国の春」など3曲を歌い上げました。そしてアメリカ人のカレンさんはジェスチャーをおりませ、陽気に合唱をリードしました。

こうして春の一日、子供も大人も一緒になって楽しい交流タイムを過ごしました。



### 「教材委員会」 切刀和子

収集した資料を以下の3つのコーナーに分け、参加者が自由に手にとって見られるように展示しました。

- (1) 国際交流センター所蔵のテキスト・教材
- (2) 県内自治体発行の外国語版情報誌・パンフレット
- (3) 役立つ教材・教具(特に入門期)、等

国際交流センター所蔵の教材は豊富にあり、今後の参考にしたいと書名や出版社名をメモする参加者もいました。

資料収集をしながら意外に思ったことがあります。それは、外国語版情報誌・パンフレットは量も多く、内容も多岐もわたっていることです。一方、せっかく作った情報誌・パンフレットが公共の場所に“置いてあるだけ・並べてあるだけ”という実態もあります。「情報」はそれを必要としている人に早く伝わる事が大事です。行政側は対象者に“知らせる努力”を、そして外国人住民も“知る努力”をしてほしいと思うと同時に、本会も何かお手伝いできることがあるような気がしています。